

第6次津久見市総合計画 3つの柱についてご紹介①

津久見市では、令和8年度からの10年間の新たなまちづくりの指針となる第6次津久見市総合計画を策定しました。

今月号から3回にわたって3つの柱(「安心」「豊かさ」「人財」)についてご紹介します。第1回目の今回は「安心」についてご紹介します。

3つの柱

「安心」を実感する地域

～暮らしの基盤を整える～

「豊かさ」を実感する地域

～地域資源を活かし、稼ぐ力を生み出す～

多様な「人財」を育む地域

～人が育ち、地域がつながる～

10年後の将来像を実現するために、津久見市は何をすべきか、どう進むかを考える上で必要な3つの柱です。

「安心」を実感する地域

～暮らしの基盤を整える～

津久見市の強みを活かすためには、「安心」の基盤が必要不可欠です。健康、医療、福祉の充実や、近年激甚化・頻発化している災害への備えに加え、公共交通や救急、生活インフラの整備も重要です。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境を整えることが、すべての活動の土台となります。このように、暮らしの基盤を確かなものにすることで、市民が「安心」を実感する地域を目指します。

「安心」の柱に対応する施策分野

- ①保健医療 ②地域福祉 ③高齢者福祉 ④障がい者福祉 ⑤子育て支援 ⑥道路ネットワーク
⑦公共交通 ⑧上下水道 ⑨防災・減災対策 ⑩暮らしの安全 ⑪消防・救急 ⑫地域経営



↑SDGsの17の目標のうち、どの目標に関連するかを示しています。

今回は「安心」をご紹介しましたが、総合計画について詳しくご覧になりたい方は、市のホームページをご覧ください。

●問い合わせ 経営政策課 秘書政策・統計班 ☎0972-82-9510



南海トラフ地震臨時情報に関するeラーニングのお知らせ

内閣府防災では南海トラフ地震臨時情報に関する周知・啓発を進めているところです。

今般、様々な主体(日本国内にお住まいの方、事業者の方など)を対象とした臨時情報に関するeラーニングが出来ました。

南海トラフ地震臨時情報が発表された際の注意点などが学べますので、ぜひご覧ください。

↓南海トラフ地震臨時情報eラーニング

↓南海トラフ地震等の被害と対策に係る映像資料



【問い合わせ】 防災危機管理室 ☎0972-82-9500